

米国の在宅介護サービスにおける排泄予測デバイス「DFree」を活用した排泄支援による介護者の負担軽減効果等の実証

(DFree株式会社)

【機器の概要及び海外展開に向けた改良点】

【機器の写真等】

- 機器概要:排泄予測デバイスDFree
- 超音波センサーで、膀胱の尿のたまり具合をとらえ、スマートデバイスなどにトイレのタイミング等を事前にお知らせする
- 海外展開に向けた改良点
- ・ハード:米国人での適用可能な超音波出力
(必要に応じて)FDA認証取得に向けた改良
- ・ソフト:在宅介護事業者のメリットにつながるサービス実現に向けたソフトの改良



【進出国:アメリカ合衆国】

重点分野名	排泄支援(トイレ誘導)	事業実施年度	R5・6年度
研究概要	米国の在宅介護サービスにおける排泄予測デバイス「DFree」を活用した排泄支援による介護者の負担軽減効果等の実証		

【以下、本調査での追記項目】

国内での市場展開状況	・B2B:主に介護施設向けに直販中心で展開 ・B2C:福祉用具販売店に卸し、福祉用具として販売	進出国における医療機器としての区分	医療機器非該当 また、保険収載を見込めるか調査中(その際は医療機器認定は必須)
海外展開における課題・ニーズ	米国失禁協会のデータによれば、排尿に関する困りごとを抱えている方々は米国で約3,300万人いるとされている。また、米国では日本同様に介護人不足が問題になっている。	取得が必要な認証制度	FCC・(必要に応じて)FDA
海外で想定する販売価格	\$399	その他	